

# 旧高麗小学校活用ワークショップ 第2回



—それぞれの施設が校舎のどこにあったらよいか考えよう—

令和8年7月25日  
日高市総合政策部財政課

# ワークショップの開催概要

## 第1回 6/27 (土)

**第1部** (旧高麗小学校)  
・施設見学

**第2部** (高麗公民館)  
・説明  
(背景、個別活用計画)  
・ワークショップ  
(どんな施設を誰がどう使うか考えよう)

## 第2回 7/25 (土)

**プログラム** (高麗公民館)

- ・説明  
(①第1回の振り返り)  
(②本日のワークショップについて)
- ・ワークショップ  
(配置案を整理し、みんなでまとめよう)

地域の皆さんが使ってみたいと思える、官民連携による施設を考えましょう！

# 本日の流れ

- 13 : 00～ **説明①** 第1回ワークショップの振り返り  
② 本日のワークショップについて
- 13 : 10～ **ワークショップ° STEP 1** 新たに取り入れたい施設を考える
- 13 : 20～ **ワークショップ° STEP 2** 配置案を整理する
- 13 : 45～ **ワークショップ° STEP 3** 発表内容の準備
- 13 : 55～ 休憩
- 14 : 05～ **ワークショップ° STEP 4** グループ発表

# 第1回ワークショップの振り返り

## 各グループの特徴

### Aグループ

#### 【特徴】

文化・スポーツ・観光などの「活動・機能」で整理

#### 【グループ分け】

- カルチャー系
- にぎわいゾーン
- スポーツ系

### Bグループ

#### 【特徴】

「多目的フリースペース」を中心に、観光やものづくりなどの「地域資源」や「公共施設」で整理

#### 【グループ分け】

- 公共（子どもも大人もみんなが集まる場）
- 観光
- ものづくり
- 金融

### Cグループ

#### 【特徴】

観光客・子ども・高齢者などの「利用者に応じたサービス」で整理

#### 【グループ分け】

- 観光客向けサービス
- 子ども向けサービス
- 高齢者向けサービス
- 教養

### Dグループ

#### 【特徴】

文化、子ども、高齢者、商業などの「機能・居場所」で整理

#### 【グループ分け】

- 文化芸術PR拠点
- 子どもの居場所
- 高齢者の居場所
- 民間商業

# 第1回ワークショップの振り返り

## ～4グループに共通する主な意見～

### ①子どもの居場所を充実させたい

各グループから出された施設例（学童保育室、子どもの居場所、児童館、子ども食堂、子どもの習い事 など）

### ②地域の交流拠点にしたい

各グループから出された施設例（公民館、出張所、多目的スペース、スマホ教室、サークル活動 など）

### ③観光・にぎわいを作りたい

各グループから出された施設例（観光案内所、飲食店、地元特産品販売、道の駅、レンタルサイクル、宿泊施設（合宿所、キャンプ） など）

### ④学びや文化を大切にしたい

各グループから出された施設例（文化財室、郷土資料、学習スペース、パソコン教室、ものづくり（ペレット加工、鱒の養殖） など）

### ⑤多世代が交流できる施設にしたい

各グループから出された施設例（高齢者交流、スポーツ施設、多目的フリースペース など）

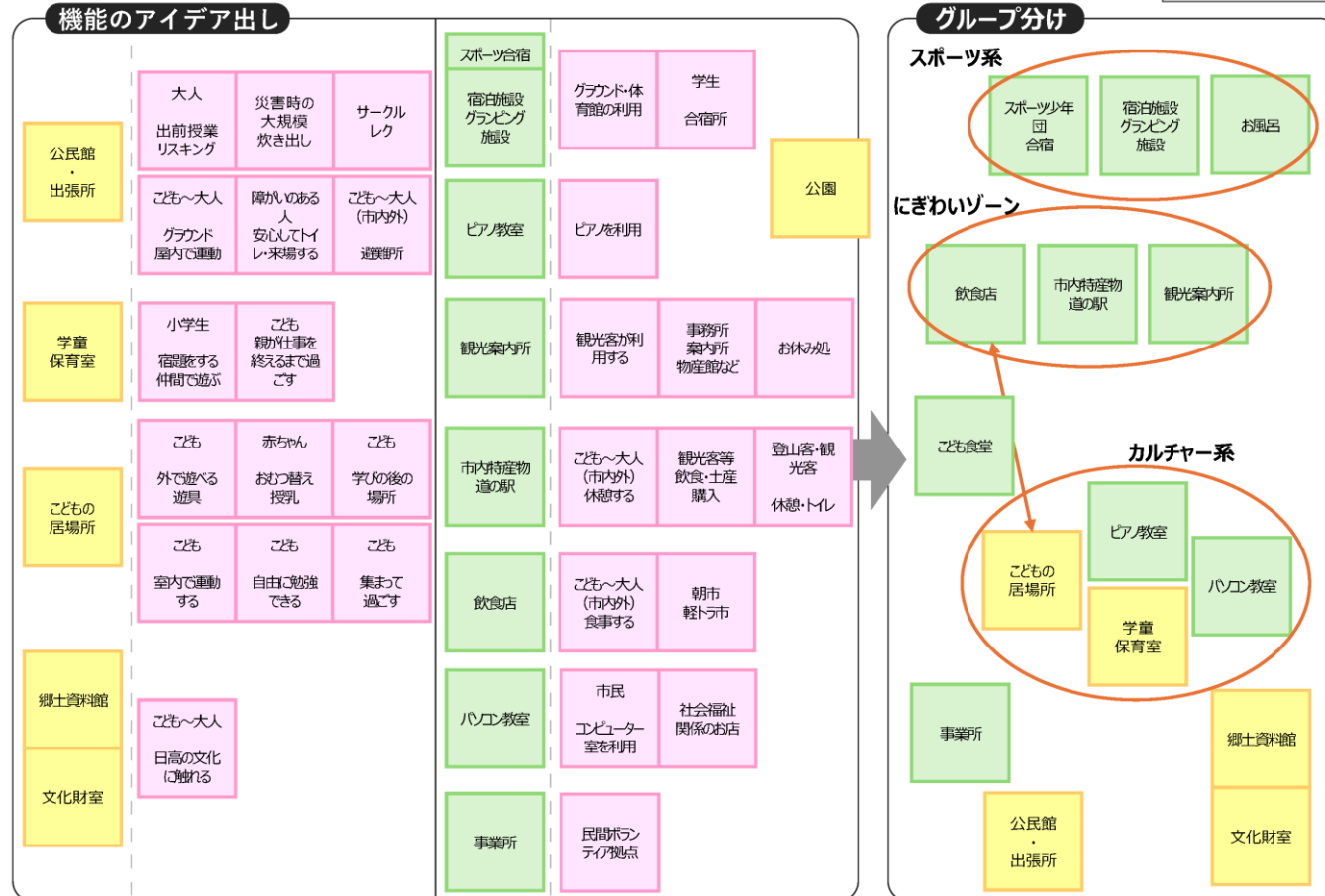
# Aグループ



# 第1回ワークショップの振り返り

## Aグループ

### 第1回ワークショップ 結果 Aグループ



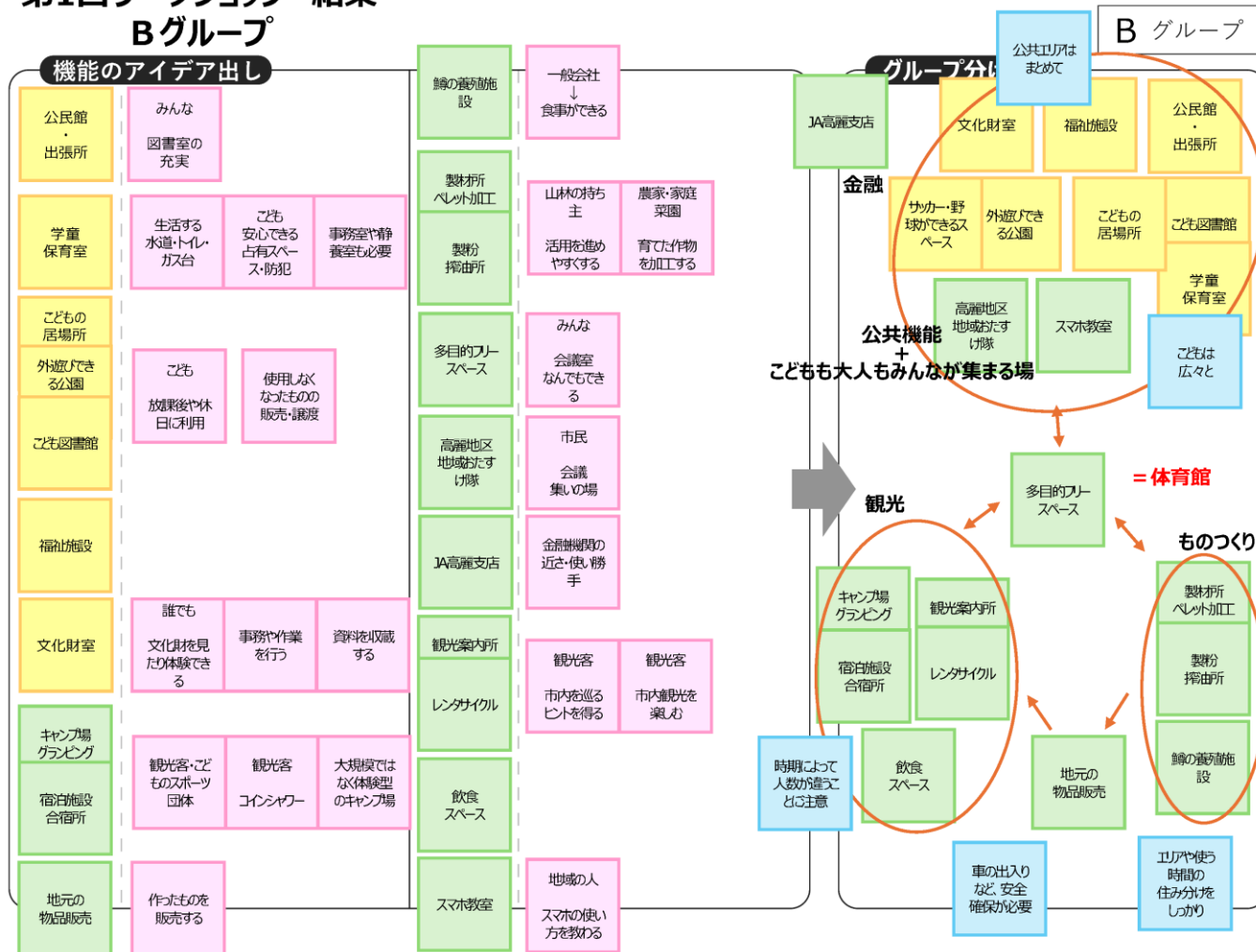
## Bグループ



# 第1回ワークショップの振り返り

## Bグループ

### 第1回ワークショップ 結果 Bグループ



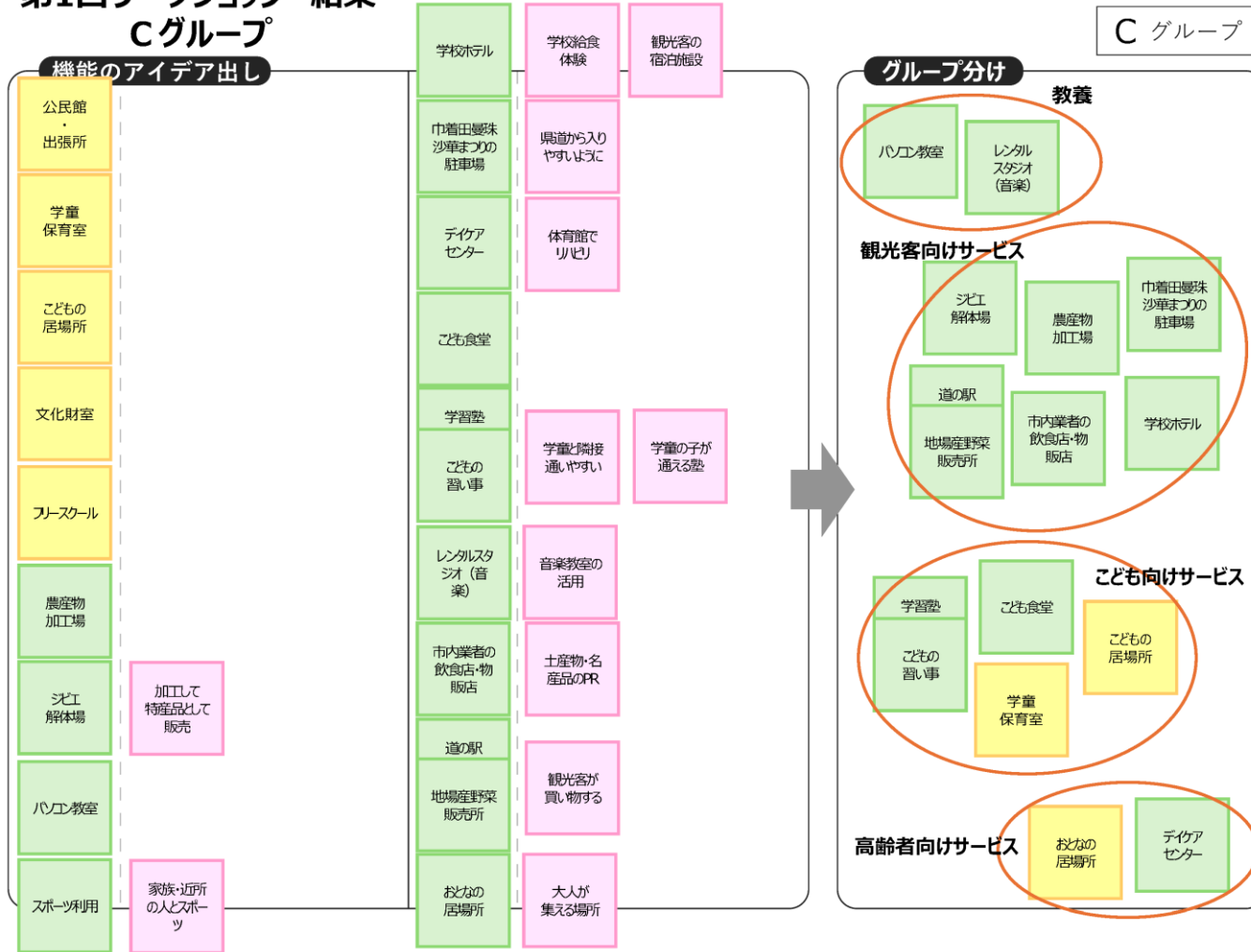
# Cグループ



# 第1回ワークショップの振り返り

## Cグループ

### 第1回ワークショップ 結果 Cグループ



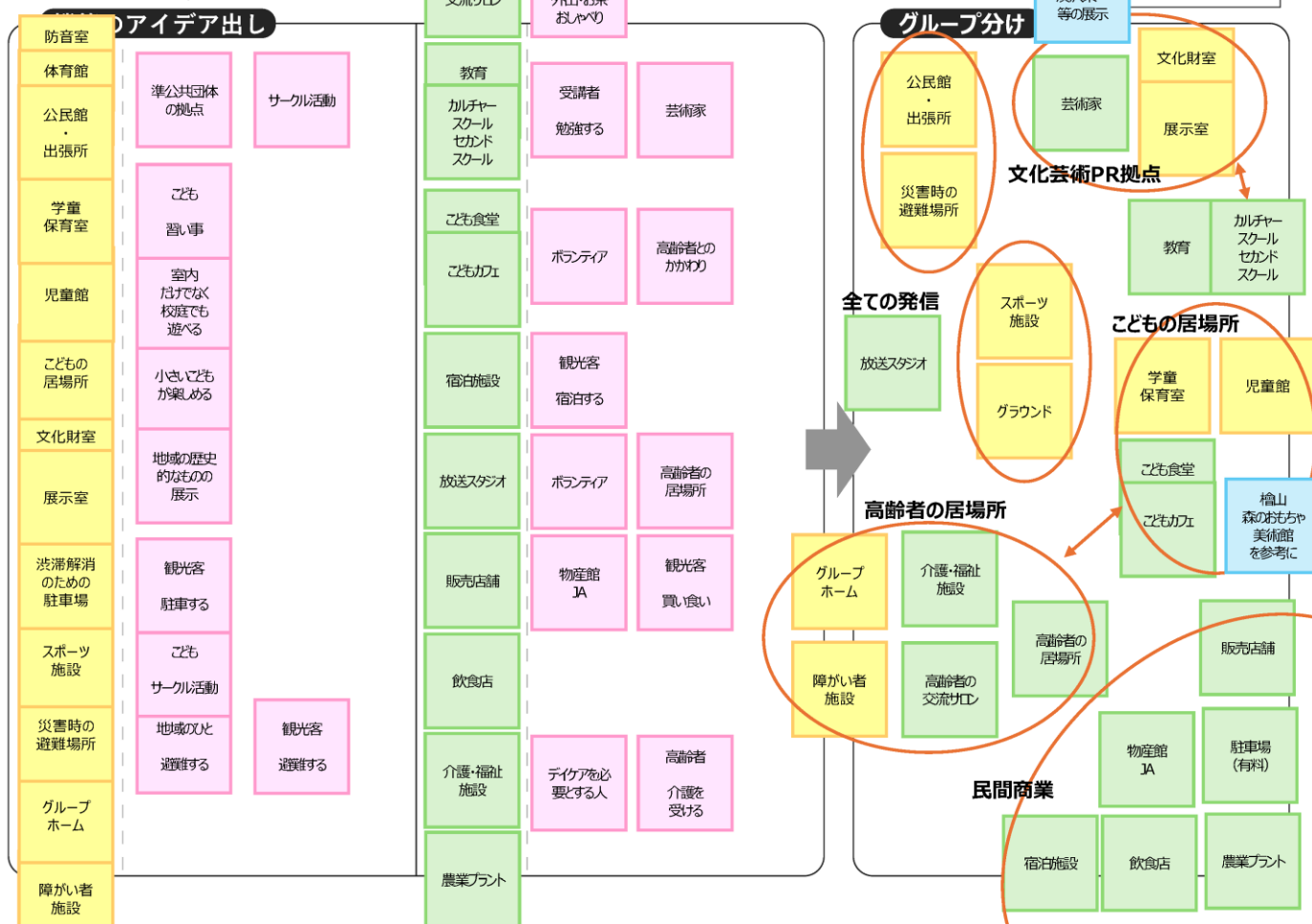
# Dグループ



# 第1回ワークショップの振り返り

## Dグループ

### 第1回ワークショップ 結果 Dグループ



# ワークショップの目標

～本日のゴール～

テーブルごとに「どこに配置すると使いやすいか」を考え、みんなで配置イメージをまとめよう。

**STEP1：新たに取り入れたい施設について考えよう。**

☑自分たちのグループだけでなく、他のグループの意見を参考にしながら、取り入れたい施設、機能を整理します。

**STEP 2：配置案及び配置理由について考えよう。**

☑校舎平面図を使って「どこに配置すると使いやすいか」、「なぜそこに配置したのか」について整理し、施設の配置案を一言で表すテーマを考えます。

**STEP 3：施設の配置を見ながら発表内容をまとめよう。**

☑配置した施設を見ながら、発表内容をまとめます。

**STEP 4：グループで話し合ったことを全体で共有しよう。**

# ワークショップの全体の流れ

## 全体の流れ

### STEP 1

#### ワークショップ①：10分

新たに取り入れたい  
施設について考えよう

### STEP 2

#### ワークショップ②：25分

配置案や配置理由、  
テーマについて考えよう

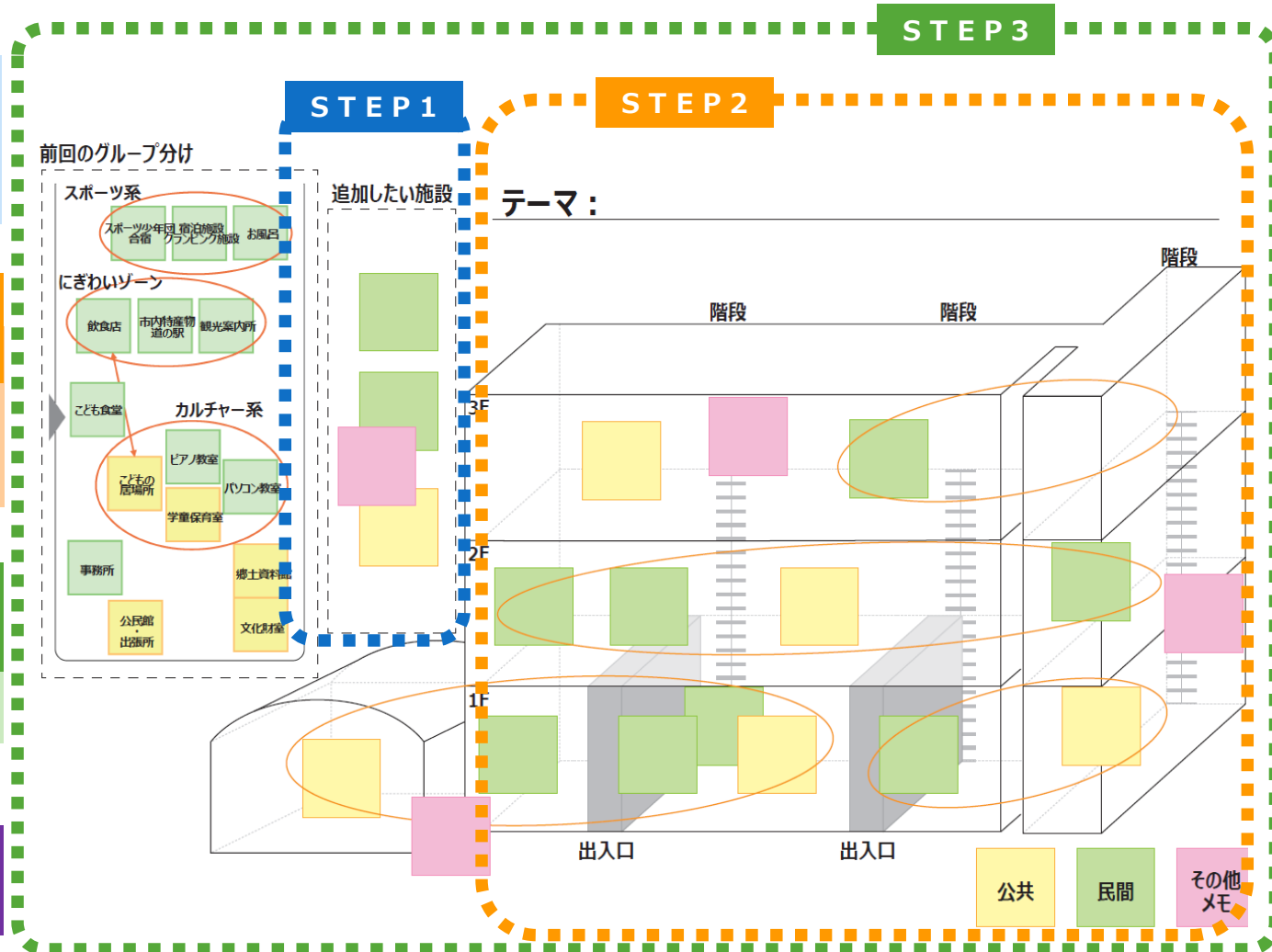
### STEP 3

#### ワークショップ③：10分

発表内容をまとめよう

### STEP 4

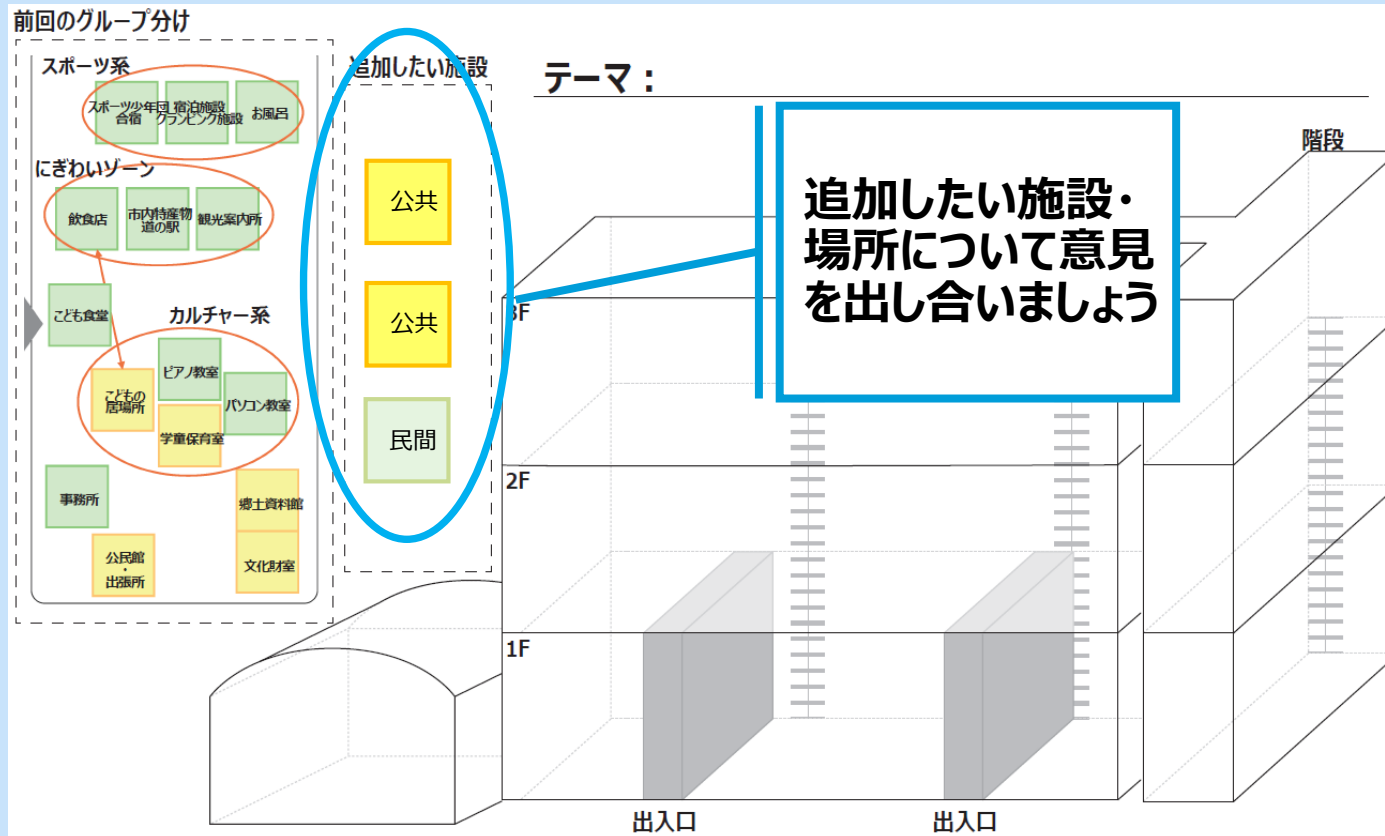
#### グループ発表



# ワークショップの進め方

**STEP1：新たに取り入れたい施設について考えよう。**

- ☑ **第1回を振り返り、他グループのアイデアや家族と話し合った意見で新たに取り入れたい施設について付せんに書きましょう。**



# ワークショップの進め方

## STEP 2 : 配置案（ゾーニング案）及び配置理由について考えよう。

- ☑ 今までに出た施設について配置を考え、校舎図へ付せんを貼りましょう。
- ☑ その配置にした理由について意見を出し、施設の配置案を一言で表すテーマを考えましょう。

### 手順 1 :

施設の付せんを校舎へ配置しましょう

#### 【ポイント】

- 利用する人を考えよう
- 施設同士のつながりを考えよう
- 利用しやすい動線を考えよう
- 将来も使いやすい施設を考えよう

### 手順 2 :

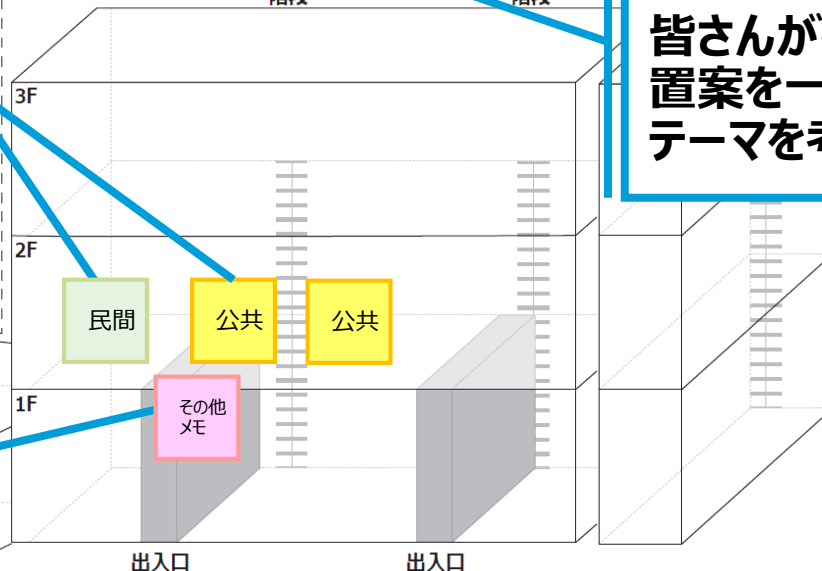
なぜそこなのかを話し合い、配置した理由を整理しましょう

い施設

テーマ :

階段

階段



### 手順 3 :

皆さんが考えた配置案を一言で表すテーマを考えよう

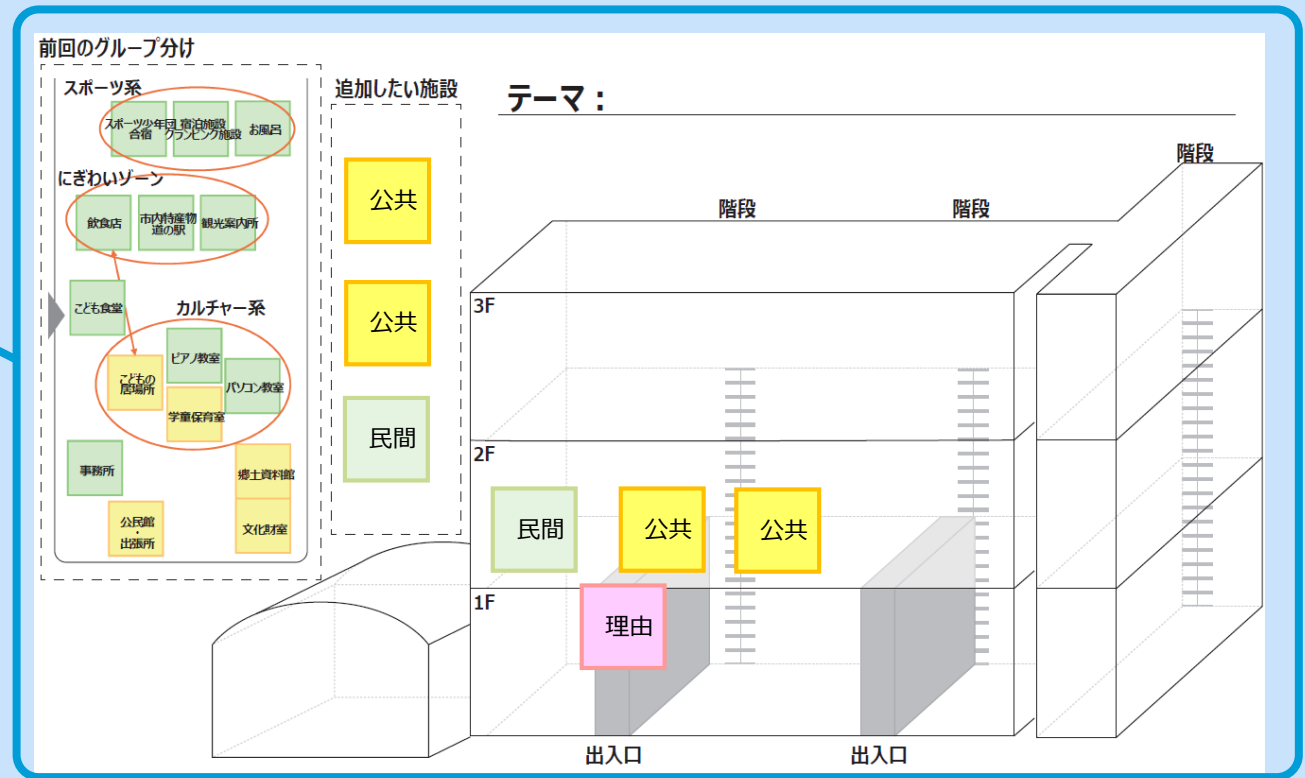
# ワークショップの進め方

**STEP 3 : 施設の配置を見ながら発表内容をまとめよう。**

- ☑発表内容は、①テーマ、②取り入れた施設、③特に工夫した点、④他グループから取り入れたアイデア⑤配置した理由 となります。

発表内容を整理しましょう

- ①テーマ
- ②取り入れた施設
- ③特に工夫した点
- ④他グループから取り入れたアイデア
- ⑤配置した理由



# ワークショップの進め方

**STEP 4 : 各グループで話し合ったことを全体で共有しよう。**

## ①発表者を決めましょう

発表者については役割を決めて何人で行ってもOKです。

## ②ホワイトボードに模造紙を貼り、説明スタート

模造紙を活用しながら説明できるとわかりやすい説明になります。

## ③発表時間は各テーブル7分以内です

残り時間が1分になったときに、事務局がベルを1回鳴らします。

## ④質疑

# ワークショップの進め方

## 付せんの使い方について

- 【1】意見は1枚につき1つ、大きな字で簡潔に記入します
- 【2】付せんの向きは裏面(のりがついた面) が下になるように記入します



# ワークショップの進め方

## ワークショップの注意点

ワークショップは、趣旨に則った意見交換の場です

✓ 全員が発言できるよう、話は簡潔にまとめ、

他の人の意見も十分に聞けるようにしてください。

- ◎ 参加に当たっては、自主性（自発性）を存分に発揮しましょう。
- ◎ 参加者相互の立場を尊重しましょう。
- ◎ 他人の意見を否定せず、様々な意見を出しましょう。
- ◎ 目的や情報など基礎的な共通認識を参加者で共有しながら進めましょう。
- ◎ ワークショップを楽しみましょう。

# 今後のスケジュールについて

令和8年度

令和9年度

令和10年度

令和11年度

地区計画の検討  
都市計画の手続

ワーク  
ショップ

公共施設の  
集約等  
に関する  
具体化検討

設計・改修工事

学校の貸付・転用  
に伴う財産処分手続

事業者の公募  
に向けた準備

公募実施  
事業者の決定

令和11年度中の  
利用開始が目標

利用開始

本日はご参加ありがとうございました